学校番号	1011

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)篆刻・刻字入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校、あるいはこれまでの授業で学んだことを発展させて、篆刻・刻字入門では美しく見える線質・文字造形および紙面構成について学びましょう。
・篆書・篆刻から入り、最終的には鑿を用いた刻字作品の制作を行い、用具による用い方や刻法の違いを学び、筆で書いたものとは異なる美しさや表現を学びます。
・日常から刻られた文字に対する感度を磨き、その効果を考え、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

日常生活を含む幅広い書活動における多様性や形式への理解を深めるとともに､文字を正しく美しく書くための資質・能力をはぐくむ。
(1)用具によって異なる特性を理解し、適切な用法で扱うことができるとともに、点画の書き方や字形の整え方などの基本的な技能を、実践や鑑賞を通して習得する。
(2)書活動において、目的や意図に即した表現方法を自ら思考・判断し、表現することができる。
(3)書活動に関する幅広い活動に対して主体的に取り組み、関心・意欲を持って向き合うことができるとともに、制作活動において、創意工夫を凝らしたり互いに鑑賞したりすることで学びを深めようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・用具によって異なる特性を理解し、適切な用法で扱うことができる。 ・点画の書き方や字形の整え方などの基本的な技能を、実践や鑑賞を通して習得する。	・書活動において、目的や意図に即した表現方法を自ら思考・判断し、表現することができる。	・書活動に関する幅広い活動に対して主体的に取り組み、関心・意欲を持って向き合うことができる。 ・制作活動において、創意工夫を凝らしたり互いに鑑賞したりすることで学びを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	篆刻の学習	①書体の学習 ・篆刻をするにあたり、書道の一分野としての位置づけを理解する。篆刻の用途も含めて学ぶ。 ・篆書体を理解するために毛筆で書き特徴を学習する。	a：書の用筆や運筆、用具・用材の扱い方を理解している。 b：書体の区別を理解し、篆書体の用筆を正確に書くことができる c：主に篆書体の用筆について、他の書体の用筆と区別ができ、習得しようとしている	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品
		②姓名印の制作 ・制作の手順を理解する。 ・姓名印を刻するにあたり、方寸の世界の美の理解を深め、篆書体の造形美を生かしてデザインする(印稿)。 ・独創性を高めて、完成度の高い作品を目指す。 ・印材の石に刻す技術を学び実践する	a：篆書体の造形を理解し、印稿制作に妥協なく取り組み、完成できている。本格的な手順に従い印刀で刻す技法が習得できている。 b：印箋に押印することで、印泥の扱いや篆刻の一貫した制作技法を感得している。 c：篆刻の表現方法や形式を理解し、表現するための基礎的な技法を身に付けようとしている。	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 印稿 授業態度 作品	ワークシート 印箋 授業態度 作品
		③陶印の制作(遊印)	a：石に刻すだけでなく、陶土の特	ワークシ	ワーク	ワークシ

2学期		・姓名印の応用として陶土で自由制作する。 ・遊印の説明と色々な印作品を鑑賞することで篆刻の造形の幅を広げる。 ・オーブン陶土を使い、鈕と印面のデザインをする。形も印面も自由制作とする。 ・陶土での制作手順を学ぶ。 ・陶土で造形し、印面に文字や絵を彫り、焼く。 ・焼きあがったら彩色などをして完成させる。	徴を生かした造形に独自の発想を取り入れている。 b:陶土での制作手順を理解し、創意工夫し、陶印の趣ある作品に丁寧に制作できている。 c：印を作って使うという、作品作りの楽しみを、鑑賞も含めて習得できている。書を愛好する心情を深めることができている。	ート 授業態度 作品	シート 授業態度 作品	ート 授業態度 作品
	一文字書の創作	①刻字作品の制作の導入として、毛筆による書作品を制作する。 ・刻字作品の書を意識して、好みの文字を選定する。自分の思いや意図にあった文字を決める。 ・書作品として成立するよう表現やデザインを工夫する。オリジナリティーの高い作品を目指す。 ・自作の姓名印を押印し、完成させ、文化祭の展示作品に仕上げる。	a:一文字書の表現方法を理解し、用筆と線質の関係性を理論的に習得している。 b:文字の造形と余白を考え、用筆をコントロールし、独自の表現ができている。 c:自ら制作した姓名印を作品に押印することで、書作品として成立する様式を、理解しようとしている。	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品
	刻字創作作品の制作	①刻字の制作 ・制作の手順を学習する ・先に制作した書作品をもとにして、木材に構成する。 ・鑿の使い方を学ぶ。 ・手順に従い彫り進める。 ・計画通りに彫れたか確	a:書を刻字に落とし込む作品であることや、多様な彫り方を習得している。 b:鑿の種類を理解し、表現に合った使い分けができている。 c：明確な仕上がりのイメージを持ち、そのための塗装や表具などを創意工夫しようとしてい	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品	ワークシート 授業態度 作品

3 学 期		認しながら完成させる。 ・仕上げをする サンドペーパーで磨き、塗装をする。 ②完成した作品を展示できるように、パネルを使い、作品を貼り付ける形で表具する。 ③展示して相互鑑賞する。	る。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度